上汐 児目

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 1月 7日　　事業所名　アップル上汐

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	11%	・活動毎にエリアを分けている ・スケジュールを分けて1つのエリアに密集しないようにしている ・公園等も利用して密を避けている	
	2	職員の配置数は適切である	89%	11%	・1日最低6～7人は職員を配置している（利用定員10名に対し）	・体調不良等による欠員の場合、ヘルプ要請できる体制を整えているが外出時など安全に配慮し、ゆとりある配置数を心掛けたい
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・活動毎のエリアの絨毯を色分けしており、何をどこでやるのかを可視化している ・手すりを設置している ・構造化されている ・バリアフリーにしている	・一部室内に段差があるが、その横にスロープを設置している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・一度使用したものは次に使用する前に消毒している ・常に換気している ・毎日の掃除、チェック ・コンプレッサーにて事業所全体を消毒	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	・個別支援計画に則った支援、日々の記録、振り返り、計画の見直し、情報共有を行っている	・非常勤の方にも書面やSNSにて意見を出してもらうようにしている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・希望する支援内容で取り入れられるものについては、即時対応している ・保護者の方々の意向は全職員に伝えられており、業務改善に繋がっている	・保護者に対し通知したり、会報誌等あらゆる方法で伝達した内容でも、認識していただけていないことが多々あり、改善目標としている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにて公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	・外部評価を実施	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	11%	・シフト調整 ・外部研修やウェブ研修への参加 ・研修を受けに行った職員の研修報告を共有している	・オンライン研修や紙面にて配布する等、できることを行っている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・半年に一回の面談をしている ・相談等は随時受け付けている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・絵カードや個別スケジュール、筆談等を活用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・利用者に必要なそれぞれの項目を示し具体的に支援内容を設定する	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・個別スケジュール ・日々の記録へ残し確認、振り返り ・個別支援計画は確認することができ、スケジュールも個別支援計画に沿った内容にしている	・進捗状況を把握できていない部分があり、改善目標としている ・視覚障害者に対しては、聴覚・触覚にて理解できるように取り組んでいる
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・毎日朝礼時に確認、決定している ・社内会議にて検討している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・保護者との面談以外、普段からの情報共有で必要な支援は随時取り入れている ・季節に応じたプログラムの実施 ・児童の様子を見ながら変更することも工夫している ・個別の活動や小集団での活動、外出等バランスを見てスケジュールに取り入れている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個別で必要な支援、小集団で行える内容等、考えている ・異なる学校や学年で交わるようにする	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・毎日朝礼時に打ち合わせし、SNS上で職員へ周知 ・その日の支援やスケジュールの検討	・確認不足の職員もいるので、内容や役割などは書面やSNSで伝達した後も、口頭で確認するなどの対応が必要
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	89%	11%	・情報共有が必要な内容に関しては、支援終了後に話し合っている ・記録を詳細に残し、気になる点など情報共有している	・不適切な表現や、十分でない記録に対し、指導や聞き取りが必要 ・打合せ等になると、非常勤職員を交えて行うことが難しい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・細かく記録を残し情報共有している ・気になった事柄も記録するようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に一度の面談、モニタリング、見直し ・相談や困りごとに関しては随時対応	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・問題を抱えている子どもやその家庭に対し、行政の担当者や学校と連携を取り、担当者会議を行っている ・聞き取りした内容は記録に残し、何かあれば関係機関と連絡が取れる状態である	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・保護者を通じて情報共有している	・現在該当なし
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	・保護者を通じて情報共有している	・現在該当なし
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	89%	11%	・送迎時や、保護者を通じて行っているが必要なら担当者会議を実施している	・保護者からのご依頼があれば、幼稚園等に出向くことも見学に来ていただくことも対応可能だと伝えている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	89%	11%	・送迎時や、保護者を通じて行っているが必要なら担当者会議を実施している	・保護者からのご依頼があれば、学校に出向くことも見学に来ていただくことも対応可能だと伝えている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	89%	11%	・研修等への参加 ・他事業所との情報共有	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	89%	11%	・公園等で一緒に遊ぶことはある	・そういった活動の場がなく、デイサービス事業所だけで関わる機会を作るのは難しいと感じる
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	89%	11%	・自立支援協議会に参加している（子ども部会含む）	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時や連絡帳にて細かく伝達している ・他にあれば個別にて連絡している	・システムを活用していただけない保護者に対し、手紙や送迎時に直接お伝えしているが、それでも不十分な保護者に対し、どうアプローチしていくのかが課題
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	89%	11%	・個別の子育てや困りごとに関して随時アドバイスや情報を提供している	・ニーズがあれば、ペアレントトレーニング等今後取り入れていきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・個別支援計画作成後確認していただき、同意を得てから、署名をしてもらっている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・半年に一度の面談 ・相談や困りごとに関しては随時受け付けている ・必要と判断した場合は、相談支援事業所と連携して担当者会議を開いている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・毎年保護者会を開催している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・送迎時や連絡帳、電話、SNSで随時即対応するようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・「アップル通信」「イベント」の便りを発行 ・活動記録や行事予定などはTwitterやInstagram、専用システムを利用して「活動記録」として発信している	・参加に対しての可否の連絡をしている
保護者への説明責任等	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・重要書類については鍵付きの棚に保管 ・配布物に関しては個人ファイルに入れる前に児童の名前が記載されている封筒に入れ、万が一間違えて他児のファイルにいれてしまっても、封筒を開ける前に間違いに気づくようにしている（中身を見る前に） ・個人情報が載っている書類はシュレッダー、写真は保護者提供後すぐに破棄している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・言語、絵カードや、文字、イラスト等を用い、意思疎通を図る	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	・毎年作品展を開催している	・作品展を地域の方にも周知しようと思っているが、児童発達支援事業所が行うことなのか、悩む事案でもあると感じている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・避難訓練を年2回実施	・その様子に関してSNSや専用システム、アップル通信にて公表している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・避難訓練を年2回実施	・その様子に関してSNSや専用システム、アップル通信にて公表している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・アセスメントを行っている	・てんかん発作の際はすぐに保護者に連絡し、動画を撮り時間を計っている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・保護者からのアセスメント、伝達で対応している	・保護者より伝達されているのみで、医師の指示書をいただいたことはない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハット事例があった件を周知するとともに、ファイルに綴じていつでも確認できるようにしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・会社全体で取り組んでいる ・研修参加や研修記録の配布	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・必要な場合は面接時に了承を得て計画書に記載する	・現在該当なし

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。